



(上)雪の中の炭出し (右)冬の作業時に履いたじんべわらじ



その8

集まって冬仕事

冬仕事に人が集まる家は大体決まっています、大きな納屋や馬屋のある家が定宿となりました。教え合いながら藁やじんべわらじを作り、合間には相撲をとったり、道行く人を眺めたり、楽しい雰囲気もありました。林業や炭焼きといった仕事はじんべわらじを履いてやるのが一番暖かったそうです。山に行く時は、じんべわらじを履き、弁当を持って、朝早く出掛けて行きました。そうして一日働いて、夕飯の後にはまたわらじ作り。林業や炭焼きの収入は、春の農作業の準備にあてていました。山仕事を始めるのは1月2日からで、この日は半紙と切り餅と鉋を持って山に行きました。半紙を切つて木に結び、切り餅を鉋で削って供え、山の神に仕事の安全を祈つてから1、2本の木を切りました。これを初山と呼びました。12日には団子さしに使う団子の木を切りに行きました。

つながるアルバム

美味しい商品と音楽で笑顔の交流

11月23日、「いいたて村の道の駅までい館」で、「までい工房 美彩恋人」(渡邊とみ子代表／前田・八和木)がイベント「秋の感謝祭」を開催。来場者は試食を味わい、美味しい商品との出会いを楽しんでいました。渡邊代表らと交流のある埼玉県 of 農業者が野菜を出品したり、ハーブとりコーダーの演奏ユニット「ぶりずむくぶれDuo(デュオ)」がミニコンサートを開いたりしてイベントを彩りました。



身近な話題をお届けします。皆さんからの情報もお待ちしております。

女性消防隊前田分隊の救命講習会

飯館村女性消防隊前田分隊(庄司ミツエ隊長／前田)の皆さんが、12月9日、前田公民館で救命講習会を開きました。講師を務めた南相馬消防署飯館分署の菅野茂則さん(関根・松塚)は、「地区単位の講習は貴重な機会」と話していました。参加者は講習用のマネキンで実際の手順を確認し、AED(自動体外式除細動器)の使い方などを、しっかり学んでいました。



老人クラブ連合会 全国表彰を報告

12月5日に沖縄県で開催された「全国老人クラブ大会」での表彰を、同7日村役場へ報告しました

飯館村老人クラブ連合会(菅野敬会長／関根・松塚)が、全国老人クラブ連合会の全国大会で表彰を受けました。全村避難の間も、交流活動・健康活動を継続し、組織の継続と活性化に取り組んできた実績が評価されたものです。現在も、スポーツイベントなどを開いて交流を深めながら、村や学校のイベントにも積極的に協力し、地域貢献活動にも取り組んでいます。



12月11日には、いいたてスポーツ公園の室内運動場で、ゲートボール大会を開催。参加者が、村内開催を喜びました



北海道胆振東部地震 被災地にエールを

平成30年9月6日未明に発生した「北海道胆振東部地震」の被災地に義援金を送ろうと、村は役場窓口等に募金箱を設置しました。多くの皆様の善意をいただき、募金額は9万4,745円となりました。これを義援金として、震度7の激しい揺れに見舞われ大きな被害を受けた厚真町にお送りさせていただきました。ご協力をいただいた皆様、ありがとうございました。



ご協力をありがとうございました



福島民報広告大賞 モノクロの部 金賞

平成30年3月11日に福島民報新聞に掲載した村のメッセージ広告が、「第57回福島民報広告大賞」でモノクロの部・金賞を受賞しました。12月10日に、福島市の民報ビルで行われた表彰式では、審査員を務めたクリエイティブディレクターの箭内道彦さんから、「胸に迫るメッセージ。そのことを一緒に考えようという歩み寄りを感じさせる広告です」など温かな講評をいただきました。